



医療法人 真正会

霞ヶ関南病院

〒350-1173

埼玉県川越市安比奈新田283-1

TEL:049-232-1313(代表)

<http://www.kasumi-gr.com/>

【法人の概要】

埼玉県川越市で老人病院として設立以来34年、地域の中での「リハビリテーション」と「コミュニティ・ケア」の推進に取り組んできました。設立理念である「老人にも明日がある」を踏まえ、法人が目指すものは、利用者、地域住民、そしてスタッフ、すべての人の「しあわせ」です。

【5つのリハビリテーションサービス】

リハビリテーション(以下、リハ)のサービスは、入院、外来、訪問、通所、介護予防・健康増進の5つを提供しています。

■入院リハ

- 入院リハは回復期リハ病棟(4病棟158床)、医療療養病棟(1病棟41床)で、全職種病棟配属による病棟運営により、回復期から維持期までの幅広い対象者に対し、個々に適したリハ・サービスを提供しています。(総合承認施設A、言語聴覚療法I⇒脳血管I、運動器Iに変更予定)
- 退院後の生活を意識し、「運動習慣」や「生活習慣」、「活動と参加」を構築するべく、リハ室でのトレーニングに加え、実生活でのADL実用化、曜日の意味づけ、運動習慣の構築、本格的なアクティビティー、家庭内での役割づくりなど、様々な事に取り組んでいます。



リハビリ室

■在宅リハビリ

- 外来リハは、PT2・OT2・ST2名体制。通院可能な方に機能訓練を中心としたサービスを提供します。対象者は、まだ回復段階にある方、維持期でも具体的な改善目標がある方、特定疾患や若年層(小児含)など長期的な機能訓練が必要な方、コミュニケーション障害のある方、など。



【これからを見据えて】

平成17年12月、新しいサービス展開を意識した、病院のリニューアルが完成しました。新しくなった場所は、デイホスピタル、SK IPTトレーニングセンター、マルチルーム、屋外庭園、研修室、在宅サービススタッフルーム、居宅介護支援事業所と在宅介護支援センターとMSWの一元拠点、MRI、リハビリテーションセンター、リハスタッフルームなどです。

■デイホスピタル

積極的なトレーニングと活動と参加など、年齢層や目的により多様なメニューを提供できるよう拡大。予防給付のメニューも完成しました。



■マルチルーム

多目的に使えるよう複数のブース化した場を用意。木工や手芸、陶芸や料理など何でも、運動も含めてカルチャークラブのような本格的な活動の拠点として、入院中から、または退院後通院しながら、多彩なメニューに積極的に参加してもらえよう場づくりを目指します。



マルチルーム：手前は木工ブース



▲ガレリア：
病院と地域をつなぐ場であり、多くの人でにぎわいます

◀病院の外観：白い蔵作りは、SKIPTレーニンセンター



SKIPTレーニンセンター：障害の有無に関わらず一緒にトレーニング

- 訪問リハは、訪問看護ステーションにPT5・OT3・ST2名体制。ご自宅を訪問し、各種評価、ADL・APDLのトレーニング、摂食嚥下障害のフォロー、自己管理方法や介護方法のアドバイスなどを行います。
- 通所リハは、デイホスピタルという名称で、PT2・OT2・ST0.5名体制（2単位）。通所している時間の中で、他職種（看護・介護・リハ・MSW等）による個別・集団活動、自主トレ、他の利用者との交流などを通して、自己管理や生活活動の拡大を目指したサービスです。リハスタッフは利用中の各場面で個々の具体的な目標に向けた関わりを行い、必要に応じて施設外活動や情報交換のための訪問も行います。

■介護予防・健康増進

- SKIPTレーニンセンター（医療法42条施設）は、自分の健康や生活機能の維持のために、自己管理の下でトレーニングに取り組む会費制の施設です。
- スタッフはPT1・健康運動指導士4名体制で、施設の中では、パーソナルトレーナーとしてリハビリテーションの視点に立ったサポートを提供し、地域の中では、転倒骨折予防教室など在宅介護支援センターと協力し地域住民のサポートをしています。



転倒骨折予防教室：公民館にて

■屋外庭園

芝生の広い庭から、前述の内容を含む、建物+屋外庭園となりました。



改修前



改修後

■リハビリテーションセンターから新棟へつながるホール（1階はマルチルームへ、2階は訪問と通所の在宅サービススタッフルーム）



上記の写真だけでは表現しきれない様々な想いが込められています。今まで以上に病院と地域のつながりのあるサービスとなれるようスタッフ一同張り切って臨みます。私達の活動にご期待ください。